

the Lion

2014-2015 VOL.4



- 第61回地区年次大会報告
- ガバナー大賞・ガバナー特別賞紹介
- 334複合地区 第61回年次大会報告
- 事務局だより



ザ・ライオンタイムズ
DISTRICT 334-C

第61回地区年次大会

61st YEARLY CONVENTION

334-C地区第61回年次大会は、2015年5月17日（日）静岡市清水文化会館・マリナートにて開催されました。

地区内より約1,000人のメンバーが参加し、和やかに交流する風景が各所でみられました。



会場外観：静岡市清水文化会館・マリナート



清水の象徴：三保海岸より望む富士山



会場に近い清水エスパルスドリームプラザ風景

代議員会

クラブ代議員による投票は11時より40分間実施されました。

その後の代議員会は、小ホールにて佛井地区ガバナーの議長のもと、提出議案の投票の結果、次期地区ガバナー、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナーの選挙結果、次年度の大会開催地の発表などが行われました。



会場内受付登録風景



代議員投票箱、投票場所



代議員会会場ステージ風景



代議員会会場ステージ風景



代議員会会場風景



代議員会会場ステージ風景



代議員会会場全体風景



代議員会会場風景

ライオンズクラブ国際協会334-C地区
第61回地区年次大会

大会式典

午後1時より久保田キャビネット会計の司会進行、大会会長の佛井地区ガバナーの開会宣言により式典が始まりました。例年通り国旗に礼、国歌・ライオンズヒムの斉唱、来賓、地区役員の紹介、本日の参加クラブの紹介と各リジョンZCの先導でのローア、物故し並びに献腎・献眼者の追悼という順序で式典は進行いたしました。



佛井地区ガバナーによる開会宣言



来賓と地区役員のご紹介



当地区役員のご紹介



司会進行のお二人



佛井ガバナー夫人ご紹介



来賓の望月大臣代理 望月香世子様



来賓の静岡市長 田辺信宏様



年次大会委員長 L.佐藤猛夫



参加メンバーローア風景

第61回地区年次大会

61st YEARLY CONVENTION

表彰式

本年度地区アクティビティ・スローガン「感謝ー強い絆で確かな奉仕」のもと、クラブを挙げて奉仕活動に勤しみ大きな成果を挙げていただきました。総合計106クラブ、1リジョンが受賞されました。



地区ガバナー大賞



地区ガバナー特別賞



会員維持賞



会員増強賞



家族会員増強賞



グッドスタンディング賞



PR賞



青少年健全育成賞



薬物乱用防止推進賞



献眼運動推進賞



献血運動推進賞



環境保全推進賞



LCIF・MJF賞



LCIF・クラブ献金賞



アクティビティ賞



クラブ会報・ホームページコンテスト



地区ガバナー特別賞



地区ガバナー大賞

ラッキーカード抽選会

ホストクラブ5クラブをもとに豪華な宿泊券が当たるラッキーカード抽選会も行いました。ラッキーカード抽選会の商品は、日本平ホテルペア宿泊券5組、旅行券3万円相当3組豪華賞品はどなたの手に・・・！



ライオンズクラブ国際協会334-C地区
第61回地区年次大会

ガバナーエレクト登場

表彰式が終了すると毎年10月に行われる掛川祭りに披露される獅子の舞が始まり会場内は一気に華やかな雰囲気。ガバナーエレクト松本巖夫妻の登場。ガバナーエレクトの紹介とご挨拶の後、次期キャビネット幹事、会計のお二人ご紹介、次年度の地区年次大会開催地の紹介を行いました。最後に次期第1副地区ガバナー、第2副地区ガバナーの紹介があり、閉会となりました。今回演じられた紺屋町の本獅子の舞は今から960年ほど前掛川城築城の際に天守閣に安置された3体の内1体が紺屋町に下付されたもので歴史的にも大変に由緒ある貴重な舞となります。



ガバナーエレクト夫妻登場



掛川獅子の舞



現・次期地区ガバナー夫妻がお揃い



松本巖ガバナーエレクトのご挨拶



次期役員の紹介



一年間の慰労の想いを込めて花束贈呈



これからの一年に激励の想いを込めて花束贈呈



来年は掛川で会いましょう



左より第2副地区ガバナー、第1副地区ガバナー

第61回地区年次大会

61st YEARLY CONVENTION

アトラクション

昼の休憩時間と式典の後2回に分けてアトラクションが行われました。

清水桜が丘高校吹奏楽部の吹奏楽演奏と舞踊「みなとっぼれ」。2部の清水桜が丘高校吹奏楽部の演奏では、若さ溢れるすばらしい演奏に会場は感動に包まれました。



舞踊「みなとっぼれ」



清水桜が丘高校吹奏楽部のみなさん



楽しいフォーメーションでの演奏



前に整列してみんなで合唱



顧問の川井先生に花束の贈呈

記念チャリティゴルフ大会

第61回地区年次大会に先立ち、4月9日（日）に富士市のリバー富士カントリークラブで総勢230名が参加して、チャリティゴルフ大会が盛大に開催されました。大会終了後に県視聴覚障害者協会への贈呈式が行われ、ゴルフ大会の参加料の一部など45万円余の目録が、鈴木礼子協会理事に手渡されました。鈴木理事からは「ろうあ者のための防災事業などに、使わせていただきます」との感謝の言葉がありました。

当日は、久しぶりに晴天に恵まれたこともあり、和気あいあいとプレーすることができました。なお、優勝者は清水日本平LCのL.杉山和義でした。



ライオンズクラブ国際協会334-C地区
第61回地区年次大会

地区ガバナー年次報告

ライオンズクラブ国際協会334-C地区2014～2015年度地区ガバナー年次報告を申し上げます。

今年度、ジョー・プレストン国際会長は、熱い思いで「誇りを高める」のテーマを掲げ、十分なリーダーシップを発揮して来ました。私も「感謝」-強い絆で確かな奉仕」のアクティビティ・スローガンを掲げ、地域とクラブ、クラブとメンバーとの絆の大切さを強調してまいりました。メンバー各位には充分ご理解をいただけたものと思っております。

この一年間を振り返りますと地区ガバナー公式訪問、各種セミナー、そしてチャーター・ナイトのお祝い等を通じて、皆様方の奉仕活動にかけられる素晴らしい雄姿が今でも私の記憶の中に鮮明に浮かんできます。

いよいよ次年度、日本の国際会長が誕生し、2017年にはライオンズ創立100周年を迎えます。日本ライオンズはこれから2～3年の間、厳しい環境を迎えることとなりますが、私たちは厳しい状況の中で、むしろ他国のメンバーでは味わえない充実した素晴らしい思い出を、そして記録を残そうではありませんか。

GMT・GLTプログラムに関しては今期から初めて、3年任期の地区コーディネーターとして名誉顧問・元地区ガバナーお二方に重責を担って戴きスタート致しました。会員増強については期末にならないとわかりませんが、少し残念な数字かなと思っています。家族会員増強計画（パイロット・プログラム）に関しては、皆さんのお陰で少し上向いてきていると思っています。当地区の「ライオンズ育成グループ研修」も3年目が無事終了いたしました。受講された方々には、今後次代を担うリーダーとして積極的にクラブ・地区運営にご協力を賜りたいと思いますし、キャビネットとしても活動の場を作って参加して頂くこと

ライオンズクラブ国際協会334-C地区地区ガバナー 佛井正夫

は大切な事だと思っています。

最近、各方面から注目が集まっている「ライオンズクエスト・プログラム」も2Rと4Rが素晴らしい実績を残して下さいました。さらに3Rが2015年8月のワークショップ開催に向けて取り組んでおられます。1Rも近いうちに実行して頂けるという力強いお話を伺っております。期待を込めて感謝を申し上げます。

献眼活動についても小山ライオンズクラブの「献眼者1,500人達成」を初め、今年度も胸を張って日本はもとより世界にアピールできました。当地区の誇りであります。

LCIF献金に関して、今年は円安が予想以上に進み、MJF25000の目標は達成できないと思いますが、クラブ献金を加えた全体の献金額は予想以上で、大いに胸を張る事が出来ました。皆様方のご協力に対し心より厚くお礼を申し上げます。

今年度は少人数クラブの問題が予想通り起きてしまいました。これからもこの問題は避けて通る事が出来ません。まずはゾーン内の密なる情報交換・交流から始め、少人数のクラブはあまり無理をしないで、自分たちが今出来るクラブ運営と奉仕活動の実施に徹するべきだと思います。ライオンズクラブのメンバーはどこへ行っても奉仕という共通の目的を持った仲間です。自分の周りには常にその仲間がいると思ってください。

これからもお互いに協力し合って有意義な楽しい仲間の集まりの場にしようではありませんか。

最後に一年間、皆様方には多大なご協力を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。

2014～2015年度 地区活動総括報告

2014年7月1日～2015年3月31日

1.アクティビティ集計表

労力奉仕	延時間数	金銭奉仕	総金額
929件	34,397時	1,518件	115,820,001円

2.会員異動状況

2014年7月初会員数	入会者数	退会者数	増減	2015年3月末会員数	平均出席率
3,633人	404人	137人	+267人	3,900人	83%

3.YCE交換実績

区分	受入	派遣	合計
夏季	6人	6人	12人
冬季	4人	0人	4人
合計	10人	6人	16人

4.献眼・献腎・献血実績

献眼者数	献腎者数	献眼登録者数	献血実績		
109人	1人	731人	200ml 387人	400ml 5,281人	成分 822人

5.LCIF献金実績

クラブ拠出金額	MJF拠出金額	LCIF拠出金総額
3,605,932円	23,911,200円	27,517,132円

6.その他特記すべき活動

1) エボラ出血熱撲滅支援金 (MD-LCIFを通じて) 462,000円以上

第61回地区年次大会

61st YEARLY CONVENTION

第61回地区年次大会年次表彰受賞クラブ一覧表 (クラブ名順不同)

- 地区ガバナー大賞 (1クラブ)
小山LC
- 地区ガバナー特別賞 (2クラブ・1リジョン)
榛南LC/沼津LC/4R16LC
- 会員維持賞 (13クラブ)
浜松南LC/豊田LC/奥浜名湖LC/小笠LC/清水日本平LC/沼津香陵LC/沼津中央LC/沼津駿河LC/芝川LC/河津LC/函南LC/三島泉LC/菰山LC
- 会員増強賞 (35クラブ)
浜松葵LC/浜松東LC/浜松南LC/浜松リパティLC/磐田LC/湖西LC/奥浜名湖LC/掛川LC/大須賀LC/静岡LC/静岡橘LC/静岡芙蓉LC/清水羽衣LC/清水日本平LC/焼津LC/榛南LC/川根LC/静岡駿府LC/静岡けやきLC/静岡翼LC/沼津千本LC/沼津中央LC/富士吉原LC/富士タカオカLC/富士マウントLC/御殿場LC/小山LC/清水町LC/長泉LC/伊東LC/東伊豆LC/西伊豆LC/河津LC/函南LC/三島泉LC
- 家族会員増強賞 (3クラブ)
清水LC/清水みなとLC/富士タカオカLC
- グッドスタンディング賞 (5クラブ)
富士タカオカLC/浜松東LC/伊東LC/富士宮LC/清水日本平LC
- PR賞 (5クラブ)
静岡LC/伊東LC/静岡翼LC/静岡駿府LC/下田LC
- 青少年健全育成賞 (5クラブ)
湖西LC/静岡LC/静岡青葉LC/富士岳南LC/下田LC
- 薬物乱用防止推進賞 (5クラブ)
浜松ホストLC/浜松リパティLC/小笠LC/富士宮中央LC/藤枝翼LC
- YCE賞 (該当なし)
- 献眼運動推進賞 (4クラブ)
御殿場LC/裾野LC/沼津LC/沼津香陵LC
- 献血運動推進賞 (5クラブ)
浜松東LC/静岡翼LC/静岡葵LC/静岡リパティLC/静岡LC
- 環境保全推進賞 (5クラブ)
浜松葵LC/菊川LC/蒲原LC/静岡弥生LC/伊豆長岡LC
- LCIF・MJF賞 (3クラブ)
清水日本平LC/榛南LC/島田LC
- LCIF・クラブ献金賞 (5クラブ)
沼津中央LC/富士中央LC/清水羽衣LC/静岡けやきLC/浜松鶴山寺LC
- アクティビティ賞 (7クラブ)
袋井LC/浜北LC/藤枝LC/富士宮LC/三島LC/修善寺LC/中伊豆LC
- クラブ会報・ホームページコンテスト (3クラブ)
会報の部: 大東LC
ホームページの部: 磐田LC/天城湯ヶ島LC

※以上、16賞・106クラブ・1リジョン

ガバナー大賞紹介

GOVERNORS AWARD



ガバナー
大賞

ガバナー大賞を受賞して

小山ライオンズクラブ

第61回地区年次大会において、小山LCが栄えあるガバナー大賞受賞との知らせを受け、会員一同日頃の活動が認められた喜びを噛みしめたところです。

小山LCは昭和39年に設立され50年が経過し、この間「We Serve」をモットーに奉仕活動を続けてまいりました。例えば献血運動では「日本赤十字社金色有功賞（1999年7月）」環境整備では「建設大臣感謝状（2000年4月）」などをはじめ多岐に亘った活動がそれぞれ評価されました。

中でも、1969年7月から「光と愛を」を合言葉に取り組んだ「献眼活動」は小山LCの重点アクティビティと位置づけて活動し、本年度で45年目を迎えこの間尊い献眼をされた方々は2014年9月で1,500霊に達しました。また直近10年間平均の献眼率は26%を超えています。ここまで献眼意識が町民の皆様に浸透していることは、活動を推進している私達クラブメンバーにとって心強いものがあります。

だが、この献眼活動がスムーズに行われて来たかと言うとそうばかりではありません。どちらかと言えば挫折感を味わう連続であったような気がします。迷信、偏見などによるご遺族の反対、昼夜を分かたぬ労力奉仕による会員の疲労困憊、一時は活動を中止しようかとの議論を行った時期もありました。

しかし、活動の継続を支えたのは、暗闇に一筋の光を求め私たちの活動に望みを託している人たちが居られるこ

と。そして暗闇の世界から燐光を見出し、献眼者への感謝の言葉を表されているこの方々の心中を思った時、会員一同の気持ちは自ずから前へと進んで行きました。今、小山LCは会員全員が「アイバンク委員会」に属しており、会員を4チームに編成し各チームが2ヶ月の責任月を定め活動しています。

献眼活動の原点は、町民の皆様に理解をしていただくことだと考えます。幸い小山町当局は、私達の活動にご理解を示し協力してくれます。私たちは町民の皆様への働きかけを熱心に行っています。因みに、当クラブのCN50周年記念事業の中で町民を巻き込んだ「チャリティー歌謡コンサート（入場料は東北被災地へ）」等のPR効果によって、2014年度の献眼者は72名、献眼率29.6%と驚異の実績となりました。

終わりにりましたが、献眼活動に対して国際協会会長トップテン奉仕事業賞、厚生労働大臣感謝状、静岡県知事褒章、今泉賞、保健文化賞等沢山の評価をいただいております。

小山LCは献眼1,500霊を通過点と捉えこれからも奉仕活動に取り組む所存です。



ガバナー特別賞紹介

GOVERNORS AWARD



ガバナー
特別賞

メンバー一丸となって

樟南ライオンズクラブ

樟南ライオンズクラブのメンバーの平均年齢は十年前と比べてとても若返り行動力が増しております。

〈ガバナー基本方針主要項目〉

1. GMT活動のさらなる推進
2. GLT活動のさらなる推進
3. LCIFのさらなる協力推進
4. 未来を担う青少年の健全育成

当クラブは、今年度ガバナー基本方針に沿ってベテラン、若手、メンバー一丸となり活動を行ってまいりました。

2名の会員を増強、ライオンズ育成グループには2名の若手メンバーを推薦、LCIF献金では、メンバーに協力を呼びかけたところ、当初の目標3口に対し22口2,483,600円の献金となりました。そして小・中学生を対象の『樟南ライオンズクラブ杯争奪剣道大会』と中・高校生対象の『自転車盗難防止用チェーンの贈呈』のアクティビティを致しました。

●樟南ライオンズクラブ杯争奪剣道大会

礼節を重んじる日本武道の発展と青少年の精神的な安寧を醸成することに繋がる手助けが出来たらと思い2012年度に樟南ライオンズ杯争奪剣道大会を開催しました。今年度で第3回目となります。

旧来より、武道特に剣道に盛んな地域であり幾多の優秀な選手、指導者を排出しております。学校教育の中にも武道が必修化されました。地域の小学生、中学生の健全育成の一助になること、地域のみなさまの手助けになればとの

思いでクラブメンバー一丸となって取り組んでおります。市役所・町役場、教育委員会、地域剣道関係者及び父兄にもご協力頂いております。

〈参加団体数、競技参加数〉

第1回	37チーム	223名
第2回	42チーム	248名
第3回	41チーム	241名

大会準備等々、大変な大会ではありますが、参加者及び関係者の皆様から大変喜ばれ、また子供たちからも活力をもらい、お互いの交流もでき、意義ある大会であると思います。今後も剣道大会を通じて青少年育成に貢献してまいります。

●自転車盗難防止用チェーン贈呈

管内警察より青少年の身近な犯罪発生状況で多いのが自転車盗難であること、少年犯罪は自転車の盗難からいろいろな犯罪に繋がっていく事を伺いました。

自転車盗難の被害から子供たちを守ろうと、当クラブのエリアである御前崎市（旧御前崎町エリア）、牧之原市、榛原郡吉田町の中学生、高校生へここ8年間、毎年約1,500名に自転車盗難防止用チェーンの贈呈をしてまいりました。管内では自転車盗難が減りつつも、まだまだ予断は許さなようです。

地域から自転車の盗難を防止して、青少年の非行防止にもなってほしい。今後も継続して施設を呼びかけ取り組んでまいります。

ガバナー特別賞紹介

GOVERNORS AWARD


**ガバナー
特別賞**

献眼運動50周年とその後の活動

沼津ライオンズクラブ

“死んだ人が、生きている人を助ける”このフレーズの神髄を人的奉仕活動に置き換えた“献眼運動”は今から50年前、1964年7月5日にクラブのライオン勸山弘の衝撃的な出会いより始まりました。静岡県第1号となる献眼の立会いでした。早々、クラブへ奉仕活動として提案し献眼運動は始まりました。1ゾーン内から他のゾーンへ、リジョンへ各地区から全国のクラブへと沼津LCの献眼運動（献眼登録）の波は拡大して行きました。

その後の献眼運動は、1971年、第一回アイバンク運動全国大会を沼津市で開催し、全国のクラブへ献眼運動の重要性を強く呼びかけました。さらに1979年、国際児童年にスリランカの首相へ直談判を行い実現した無償供与の200眼の空輸、そして全国各地の121名の児童の目に角膜移植が行われ、次から次へと光を取り戻していきました。1990年、CN30周年に“中国へアイバンクの灯を”と記念事業に掲げ、中国からの2名の患者へ角膜移植を行い光を取り戻しました。その後の中国アイバンク協会の設立に助力しました。

1996年から更に、献眼登録者推進運動を展開して1999年まで4年間の目標登録者、2,000名を達成しました。クラブ事業として視力委員会を中心に、会員一人一人のアクティビティの成果であり、以後も継続して献眼登録者推進活動は続けています。

2014年、献眼運動50周年の節目を向え、献眼という同一のアクティビティを毎年積み重ね50年継続してこ

られた、偉大なる先輩ライオンの功績を称えと共に、新たな前進の為、2014年6月1日に献眼運動50周年記念式典を開催しました。記念講演は、95歳のライオン勸山弘の“限りある、命を超えて”、記念コンサートは、視覚障害を持たれる和太鼓奏者、片岡亮太氏の演奏と共に、文化センターにて一般市民へ向けての開催でした。

献眼についての啓蒙と視覚障害者への理解をして頂く企画でした。

その後、献眼登録推進は、クラブ事業の中で、学童野球大会の3大会の会場や千本浜ファミリーマラソンの会場等で献眼登録の受付や啓蒙活動を実施しました。10月4日、アクティビティ例会は全会員で献眼登録者の受付と啓蒙活動を実施しました。

献眼運動（アイバンク運動）は献眼登録から眼球摘出・角膜移植・開眼まで非常に長い年月を要し、何人もの人の善意に仲介されて行われる尊い人的奉仕活動です。角膜移植は毎年1万5千人からの人が待ち望んでいます。更に、献眼の登録者を一人でも多く獲得できるように呼びかけ献眼運動を展開していきます。

現在、これまでに献眼登録者8,191名、献眼者508名となっています。

ガバナー特別賞紹介

GOVERNORS AWARD

ガバナー
特別賞

天城環境保全啓発運動

4R 16クラブ



伊豆エリア（4R）内16クラブの統一アクティビティとして2011年より継続事業「今、天城があふない」をテーマとした「天城環境保全啓発運動」を展開してまいりました。

初年度は、啓発パンフレット・DVDの製作及び配布。2年目は、啓発ポスター「今、天城があふない」の製作とパネル展の開催。そして昨年は、ハード整備として各クラブ名を記載した案内看板の設置及び橋梁整備を行いました。

近年、伊豆半島ジオパーク推進協議会や美しい伊豆創造センター設立に伴い、伊豆エリアのジオポイントは元より天城山を中心とした広大な自然環境は益々保全が叫ばれております。天城山に於いては皆さんもご存知の通り、鹿の食害・自然破壊が進み、土砂破壊の爪痕は年々増えております。

4年目となりました本年、自然破壊や土砂災害の現状視察を目的とした16クラブの有志による、万二郎岳・万三郎岳周辺登山や啓発ポスターのリニューアル版「天城を仰いで」を作成、伊豆全域に掲示して頂き環境保全並びに伊豆の魅力の啓発活動を行いました。

皆様もご存知の通り、私共の4Rエリアは12の市町で構成されておりますが、昨年開催された「日本創生会議」にて「消滅可能都市」が8市町あると発表されました。

今ライオンズクラブに限らず、多くの団体や組織が会員拡大に取り組まれておりますが、進捗していないのが現状

です。原因につきましては様々御座いますが、やはり第一の原因は観光業を中心に地域経済の低迷が挙げられるかと思えます。我々はライオンズマンである以前に、地域経済人の一員です。

これからは、2011年から取り組んでまいりました「天城環境保全啓発運動」の継続事業に加え、地域活性化に向けての活動にも積極的に取り組むことが急務かと思えます。今後につきましては、ライオンズクラブのみならず多くの団体にも自然の素晴らしさや大切さの呼びかけをし、伊豆地域全体で自然保全活動に取り組んでいければと考えます。

また、地域経済人として各種団体（次世代を担う団体）とコラボレーションし、知恵を出し合う場としての勉強会・講演会や、様々な団体・各行政また次世代を担う若者との情報交換の場としての交流会を開催し、地域活性化に努めていくことが大事かと思えます。「天城を仰いで」を合言葉に今後更なる積極的な活動が必至！地域経済の活性化の先にはGMT、すなわちメンバー増強にも繋がって来ようかと思えます。

来期は目指せガバナー大賞！今後の4R（伊豆エリア）に乞うご期待！

334複合地区 第61回年次大会報告

REPORT



ライオンズクラブ国際協会334複合地区

第61回年次大会 in 愛知



第61回複合地区年次大会が、新緑したたる好季節となった5月24日（日）に、愛知県名古屋市において、我が国を代表する国際会議場のひとつである名古屋国際会議場センチュリーホールをメイン会場として開催されました。当会場は名古屋市の中心部に位置する白鳥公園内にあり、地上からは白鳥が水に浮いている姿を想像させ、空中からは翼を広げている姿をイメージさせる約3,000人を収容できるモダンな会議施設でした。

代議員総会及び式典に先立ち、午前10時から30名の構成員で組織される資格審査委員会、議事運営委員会、決議委員会が、別館にて開催されました。まず、提出された4議案について、丸山正芳大会議長より提案説明があり審議の後に、全ての議案が満場一致にて承認されました。

また、この時間帯に主会場のセンチュリーホールでは、10時30分からロビーにおいて登録受付が行われていましたが、受付は地域ごとに区分された綺麗なブース内で行われ、大人数が参集した大会でしたが、スムーズな動線が確保されていました。受付終了後は、受付近くのイベントホールにおいて、お弁当を受け取り、それぞれのテーブルで名古屋の都会的な味を堪能しました。また、当イベントホール内に、名古屋名産お土産コーナーが併設されていたことから、昼食後は、自宅の家族に心ばかりのお土産を買い求めました。そして昼食後は、メイン会場のセンチュリーホールで12時50分から40分間、オープニングアトラクションとして、落語家の春風亭小朝さんの軽妙なトークを拝聴しました。小朝さんは本業の落語以外にも、司会、ドラマ、俳優と多彩な活動をされており、人気落語家のトークに魅了されました。

いよいよ13時40分より、センチュリーホールにおいて、2,800名のメンバーが参集して、式典が開催され、会場内は静寂の中にも、年に一度の年次大会を迎える熱気が充満していました。まず、ガバナー協議会議長の丸山正芳E地区ガバナーの開会宣言・ゴングに始まり、

国家斉唱等のセレモニーに引き続き、大会会長である加藤助太郎ガバナー協議会副議長による大会宣言の後、参加クラブの紹介、物故ライオン追悼、大会委員長挨拶とつつがなく進行し、来賓として出席された大村秀章愛知県知事からは、歓迎の挨拶に続き、「愛知県では、リニア、ジェット、FCVと日本の経済産業の命運のかかった我が国の未来を築くプロジェクトが大きく動いており、これらのプロジェクトを是非実現させ、日本一の産業集積を誇る愛知県の力を更にパワーアップすることで、若者や女性の雇用を増やし、人づくりを進め、すべての人が活躍し、人が輝く愛知をつくっていききたい」との愛知の魅力を忌憚なく織り込んだ祝辞があり、最後にライオンズクラブの日頃の活動に対してお礼の言葉を述べられました。次に、山田貴紘国際第一副会長からは、「ライオンズの助けを必要とする人々や、私たちの取り組むべき課題は年々変化している。会員が学び意見を交換する年次大会は重要な場である。今後ともライオンズクラブの原点である奉仕活動を更に充実させ、心から誇りに思える奉仕活動を実施していただきたい。また、来る6月にはホノルル国際大会で国際会長を拝命することとなるが、国際協会も可能な限りその支援をさせていただきたい」との挨拶がありました。また、西川義規国際理事からは、「世界で一番素晴らしい奉仕団体としての誇りを持って、メンバー同志の相互理解と、固い絆を大切に、ライオンズクラブ創立100周年の達成という大きな夢を実現しましょう」との挨拶がそれぞれありました。

来賓の挨拶に続き、丸山正芳大会議長より年次報告がありました。まず、A・B・C・D・Eの各地区の奉仕活動が報告され、特に、LCIF献金では5つの地区が素晴らしい実績を上げ、複合地区内の434クラブ全てが献金実施という世界でもまれな記録を樹立したとの報告がされるとともに、「ライオンズクラブ国際協会が100周年を迎えるに当たり、そして、我が国にライオンズクラブが誕

生して60年余りとなり、日本はもとより世界に誇る最強の334複合地区の構築に尽力をいただき、感謝を申し上げるとともに、複合地区のテーマである“愛と真心の奉仕”のもと素晴らしい成果が達成できました。また、我が334複合地区選出の山田寛紘国際第一副会長が着実にその階段を踏み締めることができている」との報告がありました。また、大会決議報告としては、議案3として「心の平和は健康への第一歩 ～人間から人間へ 心をつなげて～」が、次年度複合地区のスローガンとして採択されたとの報告がありました。

いよいよ式典のクライマックスであるガバナーエレクトの登場となり、5名のガバナーエレクトが夫人同伴で登壇

し、次期第1・第2副地区ガバナー、キャビネット幹事、会計が紹介された後、花束の交換が行われ一転して華やかなムードとなりました。松本巖ガバナーエレクトについては、当334-C地区の益々の発展のため、健康にも留意されて御尽力をいただきたいと祈念いたしております。

式典も終了が近づき、印田毅次期協議会議長の挨拶に続き、斉藤守C地区次期大会委員長より、「来年は静岡県でお会いしましょう」との次年度のPRがあり、ライオンズローアの後、協議会議長の閉会宣言・ゴングがあり、式典は盛会のうちに閉会となりました。



事務局だより

INFORMATION



2014～2015年度 第4回キャビネット会議報告

2014～2015年度の最終となる第4回キャビネット会議が4月23日（木）静岡市において開催されました。当日の主要報告・協議事項は次の通りです。

● 報告事項

国際会長アワードの伝達について

第61回地区年次大会年次表彰クラブ・ゾーンについて

● 協議事項

1. 地区3月末会計報告並びに監査報告
2. 次期地区役員・三役セミナー実施について
3. 第61回地区年次大会議案について
4. 第61回地区年次大会スケジュール・使用会場について

※詳細は、第4回ガバナー諮問委員会でのZCからの報告と、第4回キャビネット会議議事要録（地区ホームページ）にてご確認下さい。

次期クラブ三役セミナー開催

2015年5月11日（月）静岡市・グランシップにて次期クラブ三役セミナーが開催されました。次年度クラブ役員各位のご活躍を期待申し上げます。

2015年2～5月 物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
2015.2.15	L. 平野文江	浜松ひかりLC
2015.3.9	L. 眞美幸	富士宮中央LC
2015.4.6	L. 伊藤亮一	富士宮LC
2015.4.24	L. 杉本周造	掛川LC
2015.5.4	L. 若尾企叶	富士岳南LC
2015.5.11	L. 戸塚晴男	浜松ホストLC
2015.5.15	L. 金森武夫	浜松ホストLC
2015.5.22	L. 落合孝助	静岡葵LC

編集後記

今年度は、昨年同様に広報誌の表紙、裏表紙共に各ゾーンから見た富士山を掲載させていただきました。1号4号は印刷、2号3号はWEB版と前年同様の形式で発行することができました。

キャビネット役員の皆様はじめ各クラブPR委員長の皆様にはご協力いただきありがとうございました。特にL情報IT委員長の高橋英俊、PR委員のL佐藤賢一、L吉田正義、L高木一寿、L前田康には大変お世話になりました。

素晴らしいメンバーとめぐり会い、楽しく有意義な委員会活動ができましたことに心より感謝申し上げます。

一年間ありがとうございました。

地区PR委員長 L石原弘一朗



世界文化遺產
富士山

